

42.195キロは、だれが決めたか

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール：初めて読む英文から、大意と必要な情報を制限時間内につかむ / 本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

Every autumn, many schools in Japan hold a long-distance race. Some students also dream of a full marathon one day. A marathon is 42.195 kilometers long. The number looks like the result of careful science. It is not.

The first modern marathon was run in 1896, at the Olympic Games in Athens. It was about 40 kilometers long. For the next few Olympics, the distance changed from race to race, because each host city drew its own course.

In 1908, the Games were held in London. The course started at Windsor Castle and ended in the Olympic stadium. The usual explanation is that the start was placed under the castle windows so that the royal children could watch, and the finish was placed in front of the royal seats. When the course was measured, it came to 26 miles and 385 yards, which is 42.195 kilometers.

In 1921, the world body for athletics chose this London distance as the official length, and it has never changed since.

A number that sounds exact often hides a small story. When you meet a rule, ask who decided it, and why.

〔語注〕 marathon=マラソン host city=開催都市 royal=王室の athletics=陸上競技

設問 本文の内容に合うものを選ぼう。

- (1) この文章がいちばん伝えたいことは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア マラソンは1896年のアテネで始まった、歴史の古い競技である
- イ 42.195キロという数字は、科学の計算ではなく1908年のロンドンのコースから決まった
- ウ マラソンの距離は、今でも大会ごとに自由に決めてよい
- エ レースの前には、走る距離を正確に測ることが何より大切だ
- (2) 1908年より前のマラソンの距離について、本文と合うものは？ 知識・技能 答え（ ） 3点
- ア 42.195キロに固定されていて、ロンドンでもそのまま使われた
- イ 1896年のアテネで初めて40キロになり、その後は50キロ前後にのびた
- ウ およそ40キロで、大会ごとにちがっていた
- エ 開催都市が同じコースを毎回使ったので、ずっと同じだった
- (3) 1908年のロンドンのコースについて、本文と合うものは？ 知識・技能 答え（ ） 3点
- ア ウィンザー城から競技場まで。王室の人が見られるように始点と終点を決めた、と説明される
- イ 競技場の中を何周も回る形で、観客席のすぐ前を通るように科学者が距離を計算して決められた
- ウ 1921年に初めて42.195キロが走られ、そのまま世界の公式の長さになった
- エ ウィンザー城の中だけを走る短いコースで、王室の子どもたちも参加した
- (4) 最後の段落で筆者が言っているのは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア 一度決まった数字は、理由がどうであれ変えてはいけなく、疑ってもいけない
- イ 昔に決められたことは、すべて今の科学の基準でもう一度計算し直して決め直すべきである
- ウ 正確そうな数字にも物語がある。決まりを見たら、だれがなぜ決めたかを考えよう
- エ マラソンの距離は、これから大会ごとに少しずつ短くなっていくだろうと筆者は考えている

42. 195キロは、だれが決めたか（基礎） | 解答と出題のねらい

解答

(1)	イ	第1段落 The number looks like the result of careful science. It is not. と第3段落。アは本文にあるが主題ではない。ウは本文と逆、エは本文にない。
(2)	ウ	第2段落 It was about 40 kilometers long. と the distance changed from race to race. エは理由 (each host city drew its own course) と逆。
(3)	ア	第3段落 The course started at Windsor Castle and ended in the Olympic stadium と The usual explanation is that ～。ウは年 (1921) と出来事の取りちがえ。
(4)	ウ	最終段落 A number that sounds exact often hides a small story. When you meet a rule, ask who decided it, and why。

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

秋の持久走やマラソン大会の時期に読む1本です。42. 195キロという**正確そうな数字が、科学ではなく1つのコースから決まった**という筋で、reading-14の〈仕組み→始まり→結び〉とも、12・13の〈感覚と逆〉とも違う**〈数字の由来〉型**です。年が3つ (1896／1908／1921)、距離が2つ (約40キロ／42. 195キロ) 出るので、(2)(3)は数字とラベルの取りちがえをそのままねらえます。読んだあとに「学校の決まりで、だれが決めたか分からないもの」を1つ挙げさせると、(4)の結びがそのまま自分の話になります。

設問	型	観点	テストでの使い方
(1)	大意 (スキミング)	思考・判断・表現	概要把握。「古い競技」で止まらず、数字の由来が主題だと届くか
(2)	明示情報	知識・技能	1908年より前の距離 (約40キロ・大会ごとに変わる) の読み取り。年と数字の取りちがえつき
(3)	明示情報	知識・技能	1908年ロンドンのコースの事実 (始点・終点・理由) をラベルごとに拾う
(4)	筆者の結び	思考・判断・表現	結論の2文から、筆者が読者に勧めていることを選ぶ

3つの版の使い分け

同じトピック・同じ設問構造で、英文の語彙・構文と選択肢の言語だけを変えてあります (基礎=選択肢も日本語／標準=選択肢が英語／発展=設問も英語)。①クラスの帯に合わせて選ぶ ②同じクラス内で配り分ける ③基礎→標準→発展と日を空けて再挑戦—の3通りの使い方ができます。正解の記号は版ごとに違います (配り分けのときの写し合い対策にもなります)。

